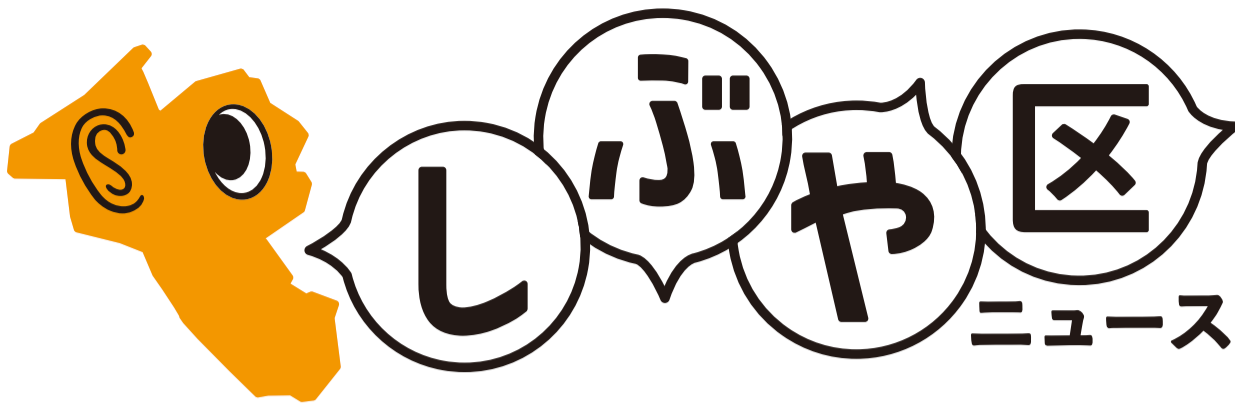


半世紀にわたる地域活動の功績をたたえて。

令和4年 (2022年) 8月15日 No. 1498



発行 | 渋谷区
編集 | 広報コミュニケーション課
所在地 | 〒150-8010 宇田川町1-1
電話 | 03-3463-1211 (代表)

区SNS



City News SHIBUYA

English-language newsletter



Catalog Pocket

This paper is available to read and listen to in 10 languages.



渋谷区名誉区民 松下義男さん

※インタビュー時は、マスクを着用、換気、身体的距離の確保を徹底し、感染対策を行いました。撮影時のみ、マスクを外して撮影しました。掲載情報は新型コロナウイルス感染症の影響により、変更となる場合があります。

地域を愛し^{まも}り^も盛り上げる、まちづくりの達人。

4 | 敬老大会の
6 | お知らせ ほか

7 | 秋季区民体育大会
9 | ほか

10 | 東京都シルバーパス
11 | 更新手続きのお知らせ ほか

ちがいを ちからに 変える街。渋谷区

渋谷区は令和4年10月1日に区制施行90周年を迎えます。



自分の街は自分の手で守る。地域活動を生きがいに。

渋谷のラジオで
出張インタビュー

恵比寿を中心に、長年にわたり地域活動に取り組まれてきた功績がたたえられ、渋谷区名誉区民に顕彰された松下義男さんに、まちづくりへの思いを伺いました。



名誉区民の顕彰は地域の皆さんの代表としていただいたと思っています。支えてくれた全ての人たちに感謝です。

渋谷区名誉区民
まつしたよしお
松下義男さん

恵比寿在住88年。地域活動で多くの役職を歴任

—— 松下さんの自己紹介をお願いします。

松下：昭和9年2月28日に渋谷区恵比寿で生まれて、今年で満88歳になります。令和4年に創立110周年を迎えた、区立長谷戸小学校は我が母校で、戦時中の学童疎開を除いて、住まいも商売もずっと恵比寿です。もともとは父が営んでいた紳士洋服店を継いだのですが、私にはどうも合わないと感じて、30歳の時に飲食業に転向しました。まったく違う商売ですから、自分なりに頑張りました。今では息子たちが跡を継いで、お店も26店舗に増えました。昭和、平成、令和と恵比寿の街の移り変わりをしながら地域活動にも打ち込み、これまでに恵比寿新栄会会長、恵比寿地区町会連合会会長、渋谷区商店会連合会副会長をはじめ、渋谷区清掃協会連合会、渋谷防火防災協会、渋谷防犯協会などで役職を務めてきました。

—— 長年にわたる地域活動の功績がたたえられ、今年7月に渋谷区名誉区民に顕彰されました。おめでとうございます！ 名誉区民となられた今のお気持ちを教えてください。

松下：ありがとうございます。こんな大きな賞をいただけたのも、今まで大勢の先輩方にご指導いただき、多くの仲間・友人たちがサポートしてくれたおかげです。ですから、今回の顕彰は私個人ではなく、地域の皆さんの代表としていただいたと思っています。先輩、後輩、友人、仲間、そして地域活動で外へ出てばかりの私を支えてくれた妻をはじめとする家族、全ての人に感謝です。

—— 町会や商店会、美化推進・清掃、防災など、多くの地域活動に情熱を注がれてきた。その原動力はどこにあるのでしょうか？

松下：地域を愛する気持ちと、常にチャレンジし、進化し続けていき

たいという気持ちです。私は本当に人に恵まれていて、これまでに地域の人たちとたくさんの交流がありました。その中で、「自分たちの街を自分たちの手で守ろう」という気持ちが自然と芽生えたんです。地域を思う気持ちはみんな同じですし、地域活動は一人ではできません。ですから、人と人のつながりはすごく大事なと思います。大変なこともあります。これが私の生きがいです。あとは、やはり体力ですね。体力がないと、気力も行動力も湧いてこない。だから、地域のためにも、まずは自分自身の体をしっかり鍛えることを心掛けています。

—— 88歳の今もトレーニングをされているんですか？

松下：週に5日はジムに行っていて、プールで1時間、泳いだり、歩いていたりしています。家でも毎日、柔軟体操や筋トレをやっていますね。天気のいい日には、自宅のベランダから富士山が見えるんですよ。富士山に向かって拳を突き出すようにして、正拳突きを1000回やります。あとはダンベル運動を200回くらいかな。

—— 松下さんの存在感と若々しさを支えているのは、日々の鍛錬なのですね。

松下：体づくりは、長年の習慣なんです。お酒も大好きだから毎晩飲みますが、運動をしているから体重は50年間ずっと変わらないですよ。体は88歳には見えないと思います(笑)。健康で長生きが一番。生きていると苦しいこともありますが、楽しいことの方が多いですから。

地域行事を盛り上げ、若者や子どもたちと交流を

—— 松下さんといえば、都内最大規模の盆踊り「全恵比寿納涼盆踊大会」の名誉会長としても広く知られています。

松下：昭和25年に戦後復興の盆踊りとして長谷戸小学校の校庭でスタートし、昭和27年から恵比寿駅前で開催場所を移し現在に至ります。私も若いころは、やぐらで太鼓をたたいていました。盆踊りの会長になって25年、今年からは名誉会長になり、気付いたら50年以上この盆踊りに携わっています。年々規模が大きくなり、毎年多くの方にお越しいただき、盆踊りを楽しんでもらっていますが、たくさんの人の協力のおかげで、長年事故なく開催し続けることができています。これは、7校ものPTAが協力して見守り活動を行なってくれているなど、皆さんの頑張りがあったからこそ、警察や消防署にも許可をいただいて開催できているのだと思います。

—— 「オリジナル音頭」の制作も松下さんのアイデアでしょうか？

松下：そうです。盆踊りは全国各地にあります。どこも高齢化が課題になっています。少しでも多くの人、特に若い人や子どもたちに楽しく踊ってもらうには、盆踊りのリズムを変えなければいけないという私の考えで、オリジナル音頭を作ることにチャレンジしたん

です。「エビス音頭」「HEY!! Mr. EBISU」「YES, YES, EBISU!」「恵比寿ラヴィアンローズ」と、これまでに4曲作りました。やはりサンバなどを取り入れたリズム感のある踊りにすることで、若い人がどんどん増えましたね。こうした楽しいイベントを通して、若い人や子どもたちが地域になじんで愛着を持つようになるわけですから、いろいろなアイデアを試していくことが大事だなと思います。残念ながらコロナ禍で3年連続の中止となってしまいました。来年こそは開催したいですね。

—— これまでの地域活動で、印象に残っている出来事はありますか？

松下：もう50年以上前の話になりますが、監督を務めていた少年野球チーム(長谷戸ハリケーン)のことは今でも心に残っています。本当に採算度外視で、お母さんお父さんたちにも協力してもらい、みんなで子どもたちを育てていこうと一致団結していましたね。60歳になるまで20年以上監督を務めましたが、皆さんの協力のおかげで、渋谷区の名門チームに成長し、都大会にも何度も出場しました。卒業の背番号返還式では、みんな感激して涙を流していましたし、長谷戸小学校のグラウンドでOBたちと運動会をして盛り上がりましたよ。やはりグラウンドが、子どもたちにいろいろなことを教えてくれるんです。都心の学校ですから狭いのは仕方ない。いろいろと工夫しながらやってきました。母校の子どもたちが元気に駆け回れる環境をつくりたいという思いから、平成28年にはOB・OGや地域の人たちと協力し、学校のグラウンドを天然芝に変える取り組みも行いました。今でも有志による天然芝運営委員会が管理しているんですよ。

次世代にバトンを託し、街を生見守り続ける

—— ご自宅に飾られた数々の賞状からも、松下さんの功績がうかがえます。今後の目標を教えてください。

松下：警視総監賞、消防総監賞、藍綬褒章、そしてこのたびの名誉区民と、さまざまな賞をいただき、ありがたく思います。しかし、今年で88歳ですから、今後はどんどん若い人にバトンタッチして、地域を守ってってもらいたいと考えています。大勢の人が汗をかかないと、地域の発展はない。これは、いつの時代も変わらないことです。若い人たちに地域活動にどんどん参加してもらい、私はそれを見守りながらお手伝いできればと思っています。元気なうちは、いつでも地域社会を思っていますよ。

—— 今年、渋谷区は区制施行90周年を迎えます。今後のまちづくりに期待していることはありますか？

松下：行政の取り組みにはいつも期待していますが、実際に街をつくって動かしていくのはやはり地域住民です。自分たちの街は自分たちの手で守ろう、きれいにしよう、盛り上げよう、そういう気持ちを多くの人々が持っていれば自然と明るい街になるんです。まちづくりは人づくりであることを後輩たちに伝えていきたい

ですし、それをまた次の時代の人に継承してほしいと願っています。これからも地域の人みんなで手を携え、よりよい渋谷をつくっていききたいですね。



7月7日に行われた名誉区民授与式での松下さんと長谷部区長▲



平成28年に行われた全恵比寿納涼盆踊大会の様子▲



松下義男さんプロフィール

昭和9年、恵比寿生まれ、恵比寿育ち。少年野球チーム「長谷戸ハリケーン」の監督を務めるなど、若いころから街の青少年育成に貢献してきた。これまで、恵比寿新栄会会長、恵比寿地区町会連合会会長、渋谷区町会連合会副会長、渋谷防犯協会など多くの街の役職を務めてきた。平成18年に区政功労者表彰受賞、令和4年に渋谷区名誉区民顕彰。

松下さんへのインタビューは8月16・23・30日に「渋谷の星」で放送します。



バックナンバーはこちら



広報コミュニケーション課広報係 (☎03-3463-1287 ☎03-5458-4920)

渋谷区の番組を放送中です

ラジオ渋谷区ニュース
月～木 11:00/16:00/21:50 (10分間)
「渋谷区ニュース」の情報を発信します。

渋谷いきいき倶楽部
月～金 13:00/16:30 (30分間)
シニアの皆さんを応援する番組です。

渋谷の星
火 11:15 (45分間)
渋谷区で活躍する人たちが登場します。

渋谷のくらし
金 16:00 (30分間)
地域の催しなどの様子を伝えます。

ラジオ渋谷区ニュース (区長の部屋)
金 11:00/17:00/19:50 (10分間)
長谷部区長が出演します。
(ラジオ渋谷区ニュースの内容になる場合があります)



「渋谷区ニュース」では毎月、「渋谷のラジオ」と連動したページを掲載。「渋谷区ニュース」と「渋谷のラジオ」が連携して、人と人のつながりが広がる紙面を届けています。



周波数：87.6MHz FM
☆公式アプリ(iOS・Android)でも聴取可能
所在地 | 渋谷3-22-11 サンクスプライムビル1階 TEL | 03-6712-6876
FAX | 03-5778-9620 E-MAIL | info@shiburadi.com HP | shiburadi.com/